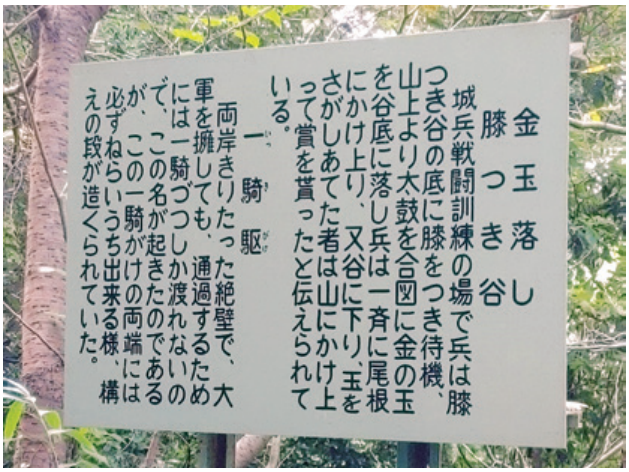
〈大変だと感じることは？〉

・年間の作業計画を立てるのですが、作業範囲が広いのでバランス良く全体に手を入れるように計画するのに苦労します。また、荒天時には作業を中止しなければなりませんので、年間の作業日数を確保するためには予備日の設定も必要となります。

・夏の暑い時期の作業はなるべく日陰になるエリアを選定して会員が熱中症等にならないよう気をつけています。作業場所は平坦な所だけではなく急な斜面もありますので、特に、安全面には全員が注意を払っています。安全装備に頼りすぎても気の緩みが出てしまうため、危険な箇所の作業は気を引き締めて作業をするように会員の皆さんには伝えています。お陰様で今までに作業中の大きな事故は発生しておりません。



当時は山岳戦の訓練の場だったそうですが、今は横地城跡桜まつりで、子ども向けに、この訓練を模したイベントが行われています。

〈課題と要望は？〉

・県立自然公園のエリアの遊歩道の整備が行き届いていない所がありますので、しっかり維持管理をして頂きたいと思います。

〈最後に〉

・私が横地城跡運営協議会の会長になってから15年が経過しましたが、こうして多くの会員の皆さんに協力を頂いていることには感謝しかありません。これは、会員の皆さんの郷土愛の強さからであると感じております。また、毎月の活動を通して会員間のコミュニケーションを図る事が出来るのも皆さんの参加の理由の一つとなっていると思います。最近は徐々に戻りつつありますが、新型コロナウイルスの影響でコミュニケーションの場が少なくなっています。市内では我々の様な活動をされている方々がお見えですが、地域でのコミュニケーションを図るためにも、このような事業の輪を広げて行ってくださるようお願いします。

取材へのご協力をありがとうございました。
これからも素晴らしい横地城跡をお守りください。